

日韓両言語における形容詞性接尾辞の対照

「らしい」との対応関係について

河 京 植

1. はじめに

形容詞性接尾辞について、玉村（1985）は、「現在、形容詞を生成する方法は5類ぐらいで大変限られている」とし、「い、しい、っぽい、がましい、らしい」と挙げています。実際に、文法と用法面で厳密であるとされる『岩波国語辞典』（第5版、1994）を資料とし、河京植（1999）は、形容詞を抽出し、その語構成の特徴について調べた。その結果、採録されている形容詞全数（667語）のうち、接尾辞の成分を持つ形容詞が155語（23.24%）で、その分布を見ると、「シイ」（66語）、「ッポイ」（19語）、「ラシイ」（17語）、「イ」（14語）などの順で、玉村（1985）の指摘とおりであることが分かる。ところが、上記の接尾辞のうち、「シイ」、「イ」などは転成によって派生形容詞となる時に付ける接尾辞であるので、これらを省いた「ッポイ」、「ラシイ」等が形容詞を派生する最も有力な接尾辞の一つであると言える。

一方、韓国語の場合は、河京植（1999）は、資料の『初等学校民衆新国語辞典』（初版、1999）から形容詞を抜き出し、その語構成の特徴について調べた。その内訳から、^①厚く分布している形容詞性接尾辞として、「스럽다 (seureobdda) 83語」、「롭다 (robdda) 33語」、「앙/엇디 (ata/eota) 18語」、「지다 (jida) 15語」、「다랗다 (darata) 14語」、「스름하다 (seureumhada) 10語」、「답다 (dabdda) 7語などを示した。そのうち、「스럽다 (seureobdda)」、「롭다 (robdda)」、「답다 (dabdda)」等は他の接尾辞より最も生産力のある接尾辞であると思われる。

本稿では、上述した形容詞性接尾辞のうち、「ラシイ」とそれに対応すると思われる韓国語の「-스럽다[スロプタ]」、「-롭다[ロプタ]」、「-답다[タブタ]」（以下、「スロプタ」、「ロプタ」、「タブタ」と表記する）などを取り上げ、語構成上の機能を中心に対照し、両言語の形容詞性接尾辞の特性について考えてみる。

2. 資料と考察方法

まず、形容詞性接尾辞「らしい」の付いた派生形容詞がどのような分布をするのかを、五つのCD-ROMの『小学館国語大辞典』(新装版, 1988), 『岩波国語辞典』(第5版, 1994), 『大辞林』(第2版, 1995), 『学研国語大辞典』(第2版, 1996), 『広辞苑』(第5版, 1998)と、『集英社国語辞典』(第1版, 1993)から調べ、その分布を表1に示す。

この表で分かるように、六つの辞典から抽出した派生形容詞の異なり語数は53である。そのうち、全六辞典に分布する派生形容詞は16語で3割前後に過ぎない。そこで、採録辞典数4を境にして、採録辞典数3以下の語例は、主に『小学館日本国語大辞典』、『大辞林』、『広辞苑』などが収録している中世語または近世語であり、現代語としてはほとんど使われていないと見受けられる。

ところで、上記の語例のうち、語構成においていくつか指摘しておくべきことがある。まず、「いじらしい」、「しおらしい」、「すぼらしい」、「みすぼらしい」の4語は、「ほこ

表1) 各辞典別の「らしい」が付く派生形容詞の分布

採録辞典数	例数(累計)	語例
6	16(16)	愛らしい, 阿呆らしい, 嫌らしい, 男らしい, 女らしい, 可愛らしい, 汚らしい, しかつめらしい, 好いたらしい, 大層らしい, 憎らしい, 馬鹿らしい, 分別らしい, 勿体らしい, 尤もらしい, 態とらしい
5	3(19)	[<u>いじらしい</u> , 小憎らしい, 子細らしい(小, 林, 広, 研, 集)]
4	5(24)	[子供らしい, しかつべらしい, 似つこらしい(小, 林, 広, 研)], [<u>しおらしい</u> (林, 広, 研, 集)], [<u>みすぼらしい</u> (小, 広, 研, 集)]
3	9(33)	[あじゃらしい, いしこらしい, 女子らしい, 実らしい, せからしい, 情けらしい, 人らしい(小, 林, 広)], [恐らしい(小, 林, 研)], [人間らしい(小, 林, 岩)]
2	12(45)	[今更らしい, 惨らしい, かやわらしい, 軽薄らしい, 御大層らしい, 人体らしい, 人物らしい, 憎体らしい(小, 林)], [にやつこらしい, 鼻毛らしい, <u>みそぼらしい</u> (小, 広)], [胡散らしい(小, 研)]
1	8(53)	[愛敬らしい, 愛しらしい, 似付くらしい(林)], [いとしぼらしい, こじおらしい, 節らしい(小)], [しなつこらしい(広)], [<u>すぼらしい</u> (研)]

注) (小) (林) (広) (研) (集) 等は『小学館日本国語大辞典』(新装版, 1988), 『大辞林』(第2版, 1995), 『広辞苑』(第5版, 1998), 『学研国語大辞典』(第2版, 1996), 『岩波国語辞典』(第5版, 1994), 『集英社国語辞典』(第1版, 1993)の略記である。同じく立項されている語例は[]でくくり、辞典の略記を施す。

表2) 派生形容詞の前項要素別分類

前項要素	語 例	語数
名 詞	愛,(阿呆),男,女,子供,子細,人間,(馬鹿),分別,勿体	10
形 容 詞	可愛,汚,小憎,憎	4
形容動詞	嫌,大層,尤も	3
動詞・副詞	好いた,態と	2
そ の 他	しかつべ,しかつめ,似つこ	3

()の語例は,名詞で形容動詞的にも用いるもの

る ほこらしい」のように「いじる」、「しおる」、「すぼる」、「みすぼる」から派生した語なので,上記の語群とは性質が違ふと思われる。また、「しかつめらしい」、「みそぼらしい」の語は「しかつべらしい」、「みすぼらしい」の変化した語である。以上,現代語の派生形容詞として認められるものは,採録数4以上の語例から,先述の「いじらしい」、「しおらしい」、「みすぼらしい」などを除き,それに採録数3にある「人間らしい」を加えた22語くらいであろう。さて,上記の派生形容詞22語を,前項要素別に分類し,表2に示す。

表2から「らしい」の前項要素としては名詞が多く,他は形容詞,形容動詞,動詞,副詞の順であることが分かる。このうち,名詞の語例は『分類語彙表』の分類によれば「人間活動の主体」に属するものが多く見られる。前項要素の分布から見て語例の多い名詞の場合に注目する必要がある。ここでは,このようなことを踏まえ,文学作品(新潮文庫100冊のCD ROM版)の用例から,前項要素が名詞である「らしい」に限ってその特性を考察することにする。

3. 形容詞性接尾辞の特性

3.1 助動詞「らしい」と接尾辞「らしい」

「らしい」は,近世において接尾語「らしい」から転じた助動詞であると言われており,そのためか両者は区別が付きにくく,紛れ易い性質を持っていると見られる。「らしい」についての先行研究は,このような特性上,不可分な関係にある両者の相違を区別することに重点を置いてきたと思われる。例えば,山田孝雄(1922)は,接尾辞の「らしい」について,「複語尾の『らしい』とは別のものであり,例として「男らしい,豊年らしい,ほんとならしい,たしからしい,わざとらしい」などを挙げている。時枝誠記(1950)は,「玄関に来たのはお客さんらしい。(推量の助動詞)」「すっかり商人ら

表3) 助動詞「らしい」と接尾辞「らしい」との弁別

助動詞「らしい」	接尾辞「らしい」
話者・表現者の推量判断作用。	属性概念を表す。
体言と「らしい」との間に「である」を挿入しうる。その上の体言に連体修飾語を自由に付ける。また指定の助動詞「だ」に置き換えられる。	体言の下に付くことが多い。その上の体言に連体修飾語を自由に付けることは不可。
連用形「らしく」は、そこで中止するか、下を修飾しても大きく下文の述部にかかってゆく。	連用形「らしく」は、それを受ける動詞がすぐ次に存することが多い。
連体形「らしい」は、一般共通の意味にならって、全体的には接尾語的傾向が強い。	左同、同種類の体言、または一部重なる体言を用いたのも同様である。
「不明確さ」があれば、助動詞なのである。	「明確さ」が求められる。

しくなった。(接尾語)」のように、両者の違いを「前者は、『お客さん』であると推定される客観的条件を多分に備えてある場合であり、後者は、客観的状况の商人的であることを云つてある場合であるので、(中略)事柄の属性概念が表現されてゐる」と区別している。

吉田金彦(1971)は、「らしい」の特質として助動詞の「らしい」と接尾辞の「らしい」との区別を諸説とは違って具体的に述べているので、その内容を要約し、表3に示す。

しかし、北原保雄(1981)は、時枝が述べた両者の違いについて、「結論的には正しいと思われるが、(中略)別の面から両者の相違を論じておく必要がある」とし、接尾語の「らしい」(後者の「らしい」)については、時枝と同様に述べているが、「前者の『らしい』は『お客さん』には直接していないのである。(中略)その証拠に、前者の『お客さん』と『らしい』の間には、『である』を入れることができる。『である』を入れても『らしい』の表現するところに変化が認められない」と指摘している。

3.2 辞典における「らしい」の意味記述

接尾辞「らしい」に関する国語辞典の記述を見てみよう。

上記の辞典での意味記述は、品詞性、語義、用例別に記されている。「らしい」の品詞性としては、名詞、形容詞や形容動詞の語幹、副詞に付いて形容詞を造る接尾辞の語性を持つことを指摘する点で各辞典が類似している。しかし、『日本国語大辞典』の記述の中、「らしい」が「漢語名詞」に付くという説明は、「子供らしい」「女らしい」などの和語名詞に付く語例もあるので、不適切に思われる。また、『広辞苑』では、前項

表4) 接尾辞「らしい」の意味記述

辞書	前項要素	記述内容
(1) 『大辞林』	名詞・副詞,または形容動詞の語幹	(1)...としての特質をよくそなえている,いかにも...の様子である,...にふさわしい,などの意を表す。 (2)...という気持ちを起こさせる,...と感じられる,などの意を表す。
(2) 『日本国語大辞典』	形容詞・形容動詞の語幹,漢語名詞,副詞	いかにも...の様子である,...にふさわしい,...と感じられる,などの意を表す。
(3) 『学研国語大辞典』	{名詞(ときに副詞・形容動詞)}	①...としての特質をよくそなえている。 ②...という気持ちを起こさせる。
(4) 『集英社国語辞典』	(名詞・形容動詞語幹)	①(ア)...にふさわしい,そのような特徴を持っている。 (イ)いかにもそういう感じを起こさせる。 ②それにふさわしい感じだ。
(5) 『広辞苑』	(体言に付いて) (形容詞の語幹)	...の様子である。...の風である。 ...感じがする。いかにも...と思われる。
(6) 『新潮現代国語辞典』	名詞,副詞,形容動詞の語幹	「...のようだ」「...にふさわしい」「...のおもむきがある」の意を加えて形容詞とする。

注) 『大辞林』(第2版,1995),『日本国語大辞典』(新装版,1988),『学研国語大辞典』(第2版,1996),『集英社国語辞典』(第1版第9刷,1994),『広辞苑』(第5版,1998),『新潮現代国語辞典』(第1版第4刷,1985)

成分により語義記述をしているが,内容を見るとそのように画然と一線を引くことは困難であるように見られる。

語義については,多くの辞典が二通りの意味,つまり「いかにも...の様子である」と「...にふさわしい」とを挙げている。こうして見ると,接尾辞「らしい」とその意味特性である「いかにも」という,程度の甚だしいさまを表す副詞とは密接な関連があるように考えられる。『類義語使い分け辞典』(研究社,1998)は,「いかにも」について次のように記述している。

「いかにも」は「AはいかにもBらしい[そうな・みたいな]+名詞・AはいかにもBだ」の形で,Aは実際にBであるが,Aの全体の印象・様子が,Bの典型的・模範的特徴などを実によく表現しているといった感じを表す。(同書p653)

このように「いかにも」と「らしい」との関係は,「いかにも」が直後の名詞と呼応して「A=B」の典型を示し,その後の代表・典型例を挙げる「らしい」が「いかにも」の意味を補足・強化するという相互につながりが深いと言える。

以上,3.1及び3.2では,「らしい」について幾つかの説と辞典の意味記述によ

りその性質を見てきた。要するに、助動詞の「らしい」は「事実の判断(推定)」を、接尾語の「らしい」は「属性の叙述」をその中心とすることがわかる。しかし体言に「らしい」が付いたものでは、その境界はかなりあいまいである。ここでは、体言に付く助動詞「らしい」と接尾辞「らしい」との区別については、吉田金彦(1971)の記述を要約した表3)を参照しながら、先に述べた「らしい」と「いかにも」との呼応関係の内容を加えて、分析を進めていくことにする。

3.3 接尾辞「スロプタ」、「ロプタ」、「タプタ」

本稿で考察する「らしい」は、男らしい、憎らしい、嫌らしい、わざとらしいなどのように語基(名詞、形容詞・形容動詞の語幹、副詞)に付いて、品詞を変える接尾辞である。

一方、韓国語には、日本語における「らしい」に対応する形容詞性接尾辞として、「사랑스럽다 かわいらしい」

「남자답다 男らしい」「새롭다 新しい」のように、「スロプタ」、「ロプタ」、「タプタ」などがある。これらの接尾辞は、名詞や語根に後接して形容詞を造る生産的かつ代表的な接尾辞である。例えば、韓国の国語辞典で、「スロプタ」が付いて出来た派生形容詞の場合は、別項の見出しを立てず、「ス 形容詞」と示す。さらに、この三つの接尾辞は、通時的に密接な関連性があり、機能・意味上でも類似点を持っている。

ここでは1.のはじめのところでは挙げた『初等学校民衆新国語辞典』(初版,1992)から採集した派生形容詞のうち、「-스럽다[スロプタ]」が付く形容詞(83語)、「-롭다[ロプタ]」が付く形容詞(30語)、「-롭다[タプタ]」が付く形容詞(7語)を対象とし、これらの派生形容詞の前項要素別の分布及び特性をまとめてみることにする。

まず、「-스럽다[スロプタ]」が付く形容詞(83語)は、現代韓国語の形容詞派生接尾辞のうち、もっとも生産的なものである。前項要素別に見ると、名詞(62語)語根(7語)形容詞(4語)接頭辞(2語)副詞(2語)その他(6語)である。また、前項要素の末音は、子音が70語(84.3%)で最も多く、母音は13語(15.7%)で割に少ない。

「-롭다[ロプタ]」が付く形容詞は、「-스럽다[スロプタ]」が付く形容詞より生産性が弱く、語例は33語である。前項要素別に見ると、名詞(25語)語根(4語)形容詞(2語)接頭辞(1語)冠形詞(1語)の順であることが分かる。また、前項要素の末音はすべてが母音(33語)であり、他方の接尾辞と比べると母音に限るという音韻論的制約が見られる。

「-답다[タプタ]」が付く形容詞は、対象とした辞典の見出し語に限ると、わずか7

表5) 接尾辞「 スロプタ」、「 ロプタ」、「 タプタ」の意味記述

	辞 書	前 項 要 素	記 述 内 容
스립다 スロプタ	『朝鮮語大辞典』	(おもに名詞に付く形容詞形成語尾)	(それらの語の表す性質・傾向・内容を暗示して) ...らしい, ...的だ。
	『朝鮮語辞典』	《名詞に付いて形容詞をつくる》	...(ら)しい, ...のようすがうかがえる, ...げだ, ...そうだ。
	『コスモス朝和辞典』	《名詞+。名詞と스립다とは時に分離し得る》	...だ。
	『民衆애센스韓日辞典』	名詞の後について形容詞をつくることば	...らしい; ...気味だ; ...がわしい; ...のようだ。
	『새韓日辞典』	名詞の下に付き, 形容詞にかえる語	
립다 ロプタ	『朝鮮語大辞典』	(ある特定の名詞に付き形容詞を作る)	...だ, ...い。
	『朝鮮語辞典』	《ある種の名詞・冠形詞などに付いて形容詞をつくる》	...らしい, ...(そう)だ。
	『コスモス朝和辞典』	《主に名詞+。形容詞を作る》	
	『民衆애센스韓日辞典』	ある名詞, または語幹について, そうであることを認めて形容詞をつくる	...らしい; ...そうだ。
	『새韓日辞典』	ある特定の名詞, または語幹に付く	
답다 タプタ	『朝鮮語大辞典』	(名詞の後に付いて形容詞を作る)	...らしい, ...要素がある, (ある程度の) 値打ちがある (값어치가 있다)
	『朝鮮語辞典』	《名詞に付いて形容詞をつくる》	...らしい, ...にふさわしい。
	『コスモス朝和辞典』	《体言+。形容詞を作る》	...らしい。
	『民衆애센스韓日辞典』	《体言に付いて形容詞をす》	...らしい” “ ...の価値がある” “ ...にふさわしい”
	『새韓日辞典』	名詞の下に付いて, 形容詞になる語	“らしい, 価値がある” の意

『朝鮮語大辞典』(1986, 角川書店), 『朝鮮語辞典』(1993, 小学館), 『コスモス朝和辞典』(1988, 白水社), 『民衆애센스韓日辞典』(初版, 1983), 『새韓日辞典』(1973, 高麗書林)

語に過ぎない。これは、全ての派生語を見出し語として収録するのは、現実には不可能であるからであろう。実際、「-답다[タプタ]」の接尾辞は生産性が高く、幅広く使われているものである。前項要素別に見ると、名詞(6語)語根(1語)であるが、代名詞も自由に結合する点は、ほかの接尾辞には見られない特徴の一つと言える。また、「-답다[タプタ]」が付く形容詞は、「-롭다[ロプタ]」が付く形容詞のような音韻論的制約がないと思われる。

3.4 辞典における「スロプタ」、「ロプタ」、「タプタ」の意味記述

3.3で述べたような性質を持っている「スロプタ」、「ロプタ」、「タプタ」などの意味を辞典は、どのように記述しているかを見ることにする。これらの接尾辞の意味記述は韓国の国語辞書を引用すべきであるが、引用しても記述している意味内容を日本語に訳さなければならないので、ここでは、対訳辞典(朝鮮語辞典、韓日辞典、朝和辞典など)を用い、該当部分を参照することにする。対訳辞書の長短について、玉村(1995)は、「(中略)近似值的ではあっても対訳辞書の訳語のほうがありがたいだろう。二言語間には、語彙項目数の差、語の分布の粗密の差、不一致点が常に存在する上に、語感の面でのズレが介在するので、対訳辞書には、隔靴搔痒の感がつきまとうのである」と指摘している。

このような指摘を踏まえて、できるだけ多くの対訳辞典を用い、韓国語の形容詞接尾辞「スロプタ」、「ロプタ」、「タプタ」などの記述を見ることにする。

表5)から接尾辞「らしい」に対応する韓国語の接尾辞は、必ずしもつまびらかではないが、「スロプタ」、「ロプタ」、「タプタ」の語義(意味要素)に共通して相当すると考えられる。このうち、接尾辞「タプタ」は、ほかの接尾辞より「らしい」に、一層近似しているようであるが、これについては、次のところで扱うことにする。

4. 「らしい」の用例

倉島長正(1997)は、言葉の語義と用例について、「国語辞典に求められるのは、よりシャープな語釈であります。そのさきにはより正確、的確でより豊富な用例文を求めるという一段と高い要求があります。(下線は筆者)」と述べている。このように、「らしい」という接尾辞の特性を知るためには、多種の資料から幅広く用例を採集する必要があると思われる。

さて、2.の「資料と考察方法」で述べたように、名詞以外の前項要素は、語例として挙げている語以外には余り見つからないので、接尾辞「らしい」との結合力が強くて一語の形容詞としての役割を果たしていると考えられる。言い換えると、接尾辞「らし

い」は、名詞との結合がほかの前項要素より生産的で、派生形容詞を造る代表的な接尾辞であると言える。

まず、本稿で考察対象としている「名詞+らしい」の「名詞」について見ることにする。例えば、『語彙教育 その内容と方法』(麦書房、1964)の記述によると、名詞は、「具体名詞 ものや人などを示すもの」と「抽象名詞 動作・性質・関係などを示すもの」に分かれるとし、さらに、具体名詞としては、「人、組織・団体、生物、生物のからだ、自然物、製品・道具・建造物」などを、抽象名詞としては、「動作・作用、精神、言語作品、性質、関係、方角・位置、数量、時・ばあい」などを挙げている。そこで、新潮文庫(CD ROM版)によって調べた「らしい」の前項要素(名詞)を上記の分類に基づき、さらに細分すると、以下の六つのグループを挙げることができる。

1) <同類名詞のらしい>

- (1) 私は殆んど交際らしい交際を女に結んだ事がなかった。(夏目漱石『こころ』)
- (2) 林はネズミのために被害らしい被害を受けたことなんか、(開高健『パニック』)
- (3) そして観念らしい観念は死の立場から生れる、(三木清『人生論』)

1)の用例は、二つの同類名詞が「らしい」の前後をはさみ、その名詞が持つ語彙的な意味を強調する。また、同類の中で、最良の基準になることも表す。一方、韓国語の場合は、形容詞「깁다[カッタ]」(...らしい、...にふさわしい)の連体形である「깁은[カットン]」の形が対応する。但し、「学生らしい学生」のように、人を示す場合は、「깁은[カットン]」の他に、接尾辞「-타타」が制限なく「らしい」に対応すると言える。

2) <抽象名詞らしい抽象名詞>

- (4) 母に向って云訳らしい言葉を使わなければならなかった。(夏目漱石『こころ』)
- (5) 機動部隊は不死身であり、損害らしい被害を知らず、(北杜夫『楡家の人びと』)
- (6) 収入を約束する技術があり、派手らしい雰囲気があり、(石川淳『処女懐胎』)

3) <具体名詞らしい抽象名詞>

- (7) 泥酔者らしい連想である。(井伏鱒二『黒い雨』)
- (8) 影の中に生き物らしい気配があらわれて来た。(梶井基次郎『泥濘』)
- (9) それぞれ所を得ていっばし住居らしい趣です。(三浦哲夫『團樂』)

4) <抽象名詞らしい具体名詞>

- (10) 八の字をよせたまま不服らしい顔をして、(芥川龍之介『鼻』)
- (11) 耳に這入る位であるから、伶俐らしいあの女がそれに気が(森嶋外『百物語』)
- (12) 宮村の一喝に対して不満らしい態度を示していた彼も、(新田次郎『孤高の人』)

2) から 4) の共通点は、「らしい」の前後にある名詞を具体名詞または抽象名詞により、細分したことである。「らしい」の前項成分は、外見上の印象・感じがその成分の持つ意味内容（性質、性格、状態、外観など）としてふさわしいと考えられることを表す。なお、前項成分は、被修飾語（「らしい」に後接する名詞）に対して、だいたい属性、部分、特徴、機能などを示すことが分かる。さて、韓国語の場合、(6)派手らしい (11) 伶俐らしい の用例は、補助形容詞「듯하다[トゥッタダ]」(…らしい、…(の)ようだ、…そうだ) の連体形である「듯한[トゥツタン]」の形が対応し、(4)云訳らしい (7)泥酔者らしい (8)生き物らしい (9)住居らしい の各用例は、「같은[カットン]」の形が対応する。

なお、(10)不服らしい (12)不満らしいは、接尾辞「스롭타」が対応する。ところで、(5)損害らしいの場合は、それにふさわしい語がなく、句または文の形になると考えられる。

5) <名詞+らしい形式名詞「もの、こと、ところ」>

- (13) 弁当らしいものを持って行くものは、(井伏鱒二『黒い雨』)
- (14) 真らしいものが美しいものに取って代った、(小林秀雄『モオツアルト』)
- (15) 挨拶らしいものが済んでいるのは松治との間だけ、(新田次郎『孤高の人』)
- (16) お袋に云って、見舞らしいことも云わないで帰ったそうだ。(井伏鱒二『黒い雨』)
- (17) 親切らしいことを言ってくるやつは、(山本有三『路傍の石』)
- (18) 僕は全く御愛想らしい事も云わなかったし(志賀直哉『佐々木の場合』)
- (19) 線路づたいに西へ行くと駅らしいところに着いた。(井伏鱒二『黒い雨』)
- (20) この辺が、金沢らしい所と言えるのだろうか。(五木寛之『風に吹かれて』)

5) は、「らしい」に後接する名詞が「もの、こと、ところ」など、形式名詞である用例である。これらの形式名詞は、常に実質的意味を補う連体修飾語を受けて用いられるという用法上の特色がある。これらは、韓国語では、例外なく「같은[カットン]」の形が対応する。

6) <いかにも+名詞らしい>

- (20) みんないかにも朝らしい生き生きとした車内の空気、(三浦綾子『塩狩峠』)
- (22) 此方へ向けて如何にも不安らしい様子を、(志賀直哉『十一月三日午後の事』)
- (23) 搜索方鍼に対して、稍不満らしい気色を見せながら、(森嶋外『護持院原の敵討』)
- (24) 出外れると、格別、戦時色らしい風景とてなかった。(北杜夫『楡家の人びと』)

- 25) 俺は少しも嫉妬らしい気持は持たなかった。(志賀直哉『山科の記憶』)
- 26) 単独よりも、情死する方がよけいにそれらしく見えます。(松本清張『点と線』)
- 27) 瘦せっぽちの、すこし藪睨みらしい女房であることだ。(堀辰雄『美しい村』)
- 28) 急な上り坂になり、ますます砂らしい砂になった。(安部公房『砂の女』)
- 29) いっこうにそれらしい手応えがない。(安部公房『砂の女』)
- 30) 上方のほうへいっているなんて、さもさも本当らしく云って(山本周五郎『さぶ』)
- 31) 自然科学のうちで最も自然科学らしい医学をしていて、(森嶋外『妄想』)
- 32) さも内証事らしく、それから手柄顔をして、(志賀直哉『赤西蠣太』)

6) は、3.2で述べた「らしい」と「いかにも」との呼応関係がある用例である。「いかにも」は、「らしい」の前項成分である名詞と呼応してその典型的である様子を示し、さらに「らしい」が「いかにも」の意味を補うという密接な関連を持つ程度副詞である。それに、類似している副詞類を挙げておくことにする。一方、韓国語の場合は、ほとんどが「갈은[カットン]」の形が対応するが、そのうち、22不安らしい 23不満らしい の用例は、接尾辞「 스포타」が対応することが分かる。

5. まとめ

以上、形容詞性接尾辞「らしい」とそれに対応すると思われる韓国語の形容詞性接尾辞「 스포타」、「 로타」、「 타타」との語構成上の機能について、考察してきた。「らしい」が付く現代語の派生形容詞は、六つの辞典によっても22語くらいであり、「らしい」に付きうる前項要素の名詞と他の前項要素とを比べてみたとき、前者が後者よりその範囲が広いので、造語し得る幅があると言える。さらに、前項要素の名詞を具体名詞、抽象名詞、形式名詞などに細分し、それぞれの特徴を見ると、「名詞が持つ語彙的な意味の強調」「同類の中で、最良の基準になること」「外見上の印象・感じがその成分の持つ意味内容(性質、性格、状態、外観など)とふさわしいと考えられること」「被修飾語(「らしい」に後接する名詞)に対して、だいたい属性、部分、特徴、機能などを示すこと」「いかにも」と呼応してその典型的である様子を示すこと」などを有していたことが分かった。

一方、韓国語の場合は、形容詞性接尾辞「 스포타」、「 로타」、「 타타」のうち、「不服らしい、不満らしい」などは接尾辞「 스포타」に、「学生らしい学生」のように人を示す場合は、「갈은[カットン]」の他に、接尾辞「 타타」が制限なく「らしい」に対応すると言える。ところが、用例からは「 로타」が対応するものは

見当たらなかった。そのかわり、形容詞「같다[カッタ]」(…らしい, …にふさわしい)の連体形である「같은[カットン]」の形と補助形容詞「듯하다[トゥッタダ]」(…らしい, …(の)ようだ, …そうだ)の連体形である「듯한[トゥッタタン]」の形が大半の「らしい」に対応することが分かった。なお、「損害らしい」のように、それにふさわしい語がなく、句または文の形になることもあり、玉村(1995)の指摘どおり「二言語間には、語彙項目数の差、語の分布の粗密の差、不一致点が常に存在する」とは、避けられないことであると言えよう。

注

- ① 辞書の選択にあたっては、「1 辞書の収録見出し語がほぼ同数のもの 2 辞書の種類は対訳辞書でなく、両言語の国語辞書であること 3 辞書の利用者を小学生としたもの」を両言語の辞書選択の基準とし、これらの基準から、日本語の『旺文社小学新国語辞典』(重版, 1993)と韓国語の『初等学校民衆新国語辞典』(初版, 1992)とを資料として選んだものである。
- ② 『逆引き広辞苑』(第1刷, 1992)において「いじらしい」「しおらしい」「みずばらしい」は、接尾辞「らしい」からできた語とされている。

参考文献

- 山田孝雄(1922)『日本口語法講義』宝文館
 時枝誠記(1950)『日本文法 口語編』岩波書店
 教科研東京国語部会他(1964)『語彙教育 その内容と方法』表書房
 吉田金彦(1971)『現代語助動詞の史的研究』明治書院
 松村明編(1971)『日本文法大辞典』明治書院
 北原保雄(1981)『日本語助動詞の研究』大修館書店
 玉村文郎(1985)『語彙の研究と教育(下)』(日本語教育指導参考書12)国立国語研究所
 玉村文郎(1995)『外国人のための日本語辞書の構想』『月刊言語』24-6大修館書店
 倉島長正(1997)『「国語」と『国語辞典』の時代—下— 『日国』物語』小学館
 河京植(1999)『現代語形容詞の語構成について』『日語教育第15輯』韓国日本語教育学会
 河京植(1999)『日韓両言語における形容詞の語構成の対照』『同大語彙研究Ⅰ』同志社大学大学院日本語学会

資料

- 『大辞林』(第2版, 1995), 『新潮現代国語辞典』(第1版第4刷, 1985) 『日本国語大辞典』(新装版, 1988), 『集英社国語辞典』(第1版第9刷, 1994), 『学研国語大辞典』(第2版, 1996), 『広辞苑』(第5版, 1998), 『逆引き広辞苑』(第1刷, 1992), 『朝鮮語大辞典』(1986, 角川書店), 『朝鮮語辞典』(1993, 小学館), 『コスモス朝和辞典』(1988, 白水社), 『民衆어彙』(韓日辞典)(初版, 1983), 『새韓日辞典』(1973, 高麗書林), 『新潮文庫100冊』(CD-ROM版)